

自家消費証明と コーポレートPPA事業

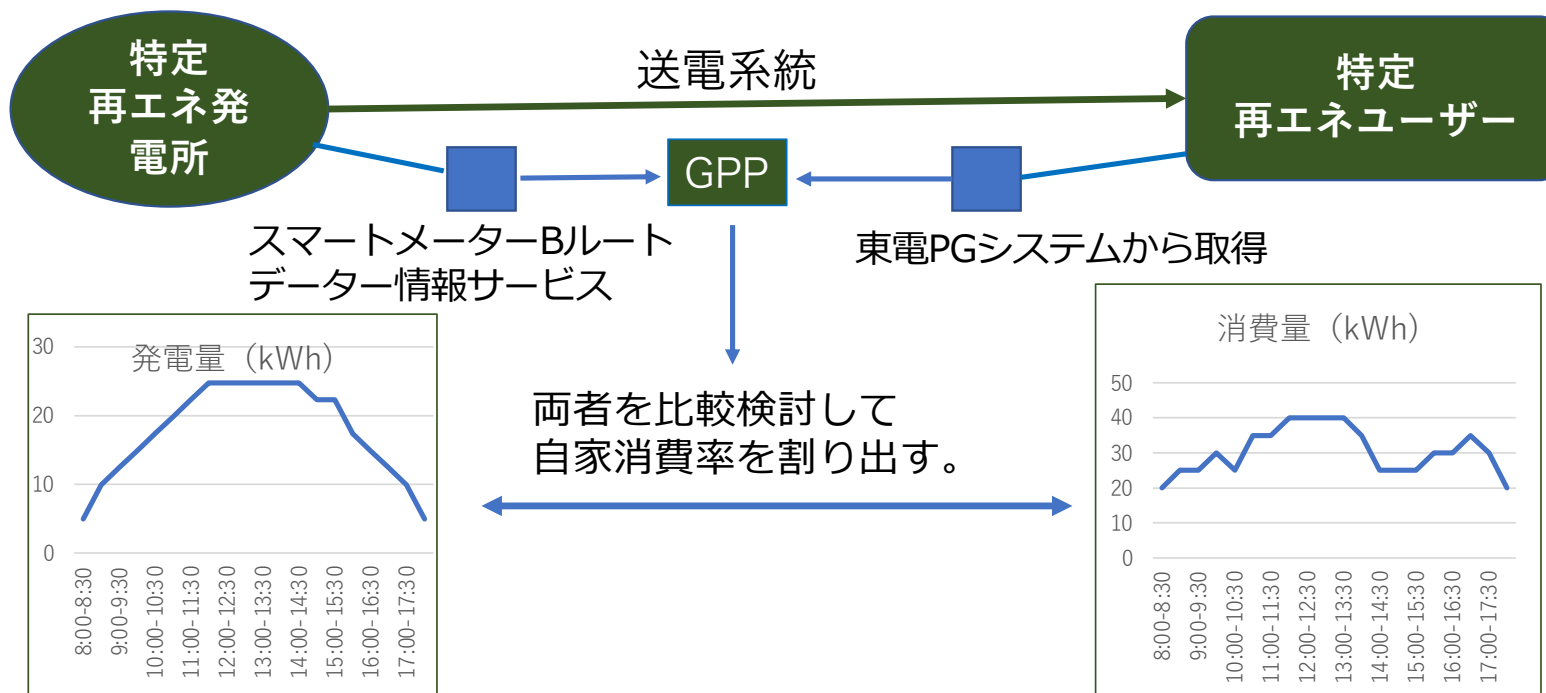
グリーンピープルズパワー株式会社

2021年12月18日

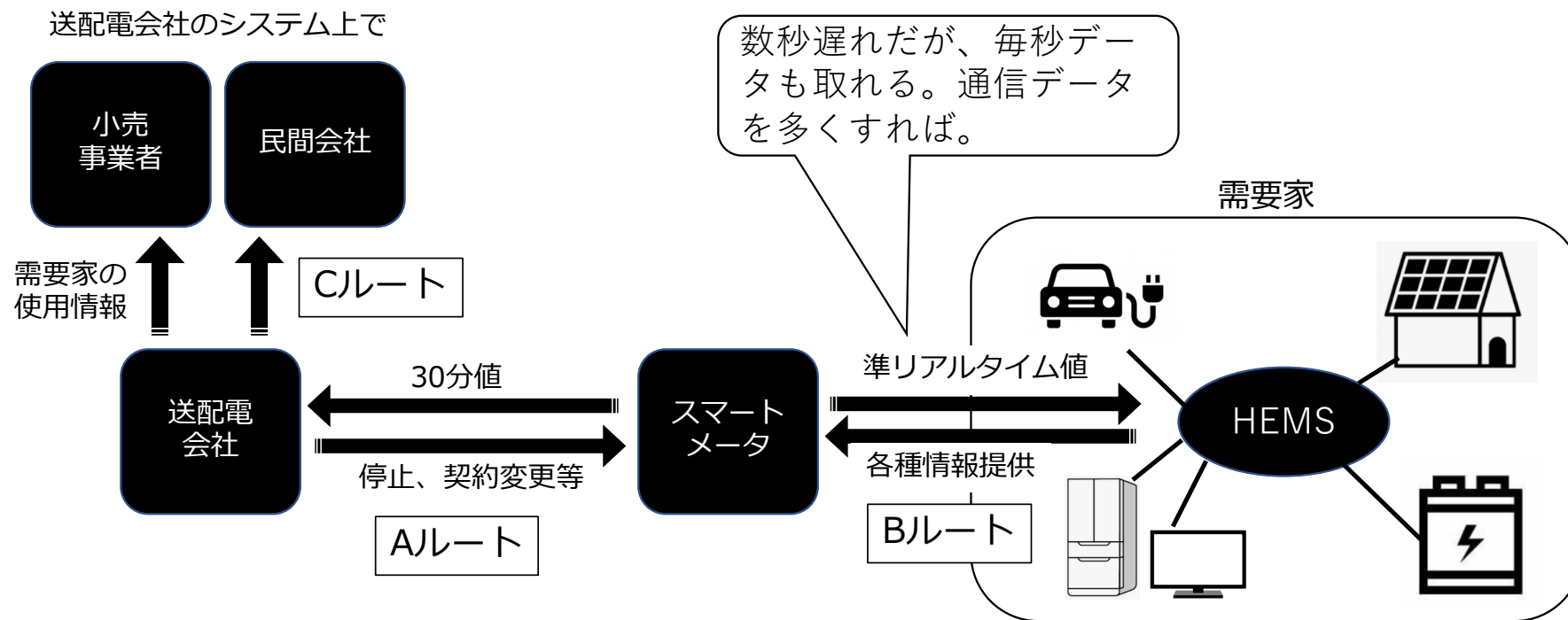
Green People's Power

1、自家消費証明事業

日本では電気は30分単位で需要と供給を一致させる「需給調整」がおこなわれている。それにあわせて30分ごとの、特定発電所の発電時間帯に、発電所からの系統供給量と特定ユーザーの消費量を把握し、全量自家消費されていることを証明。

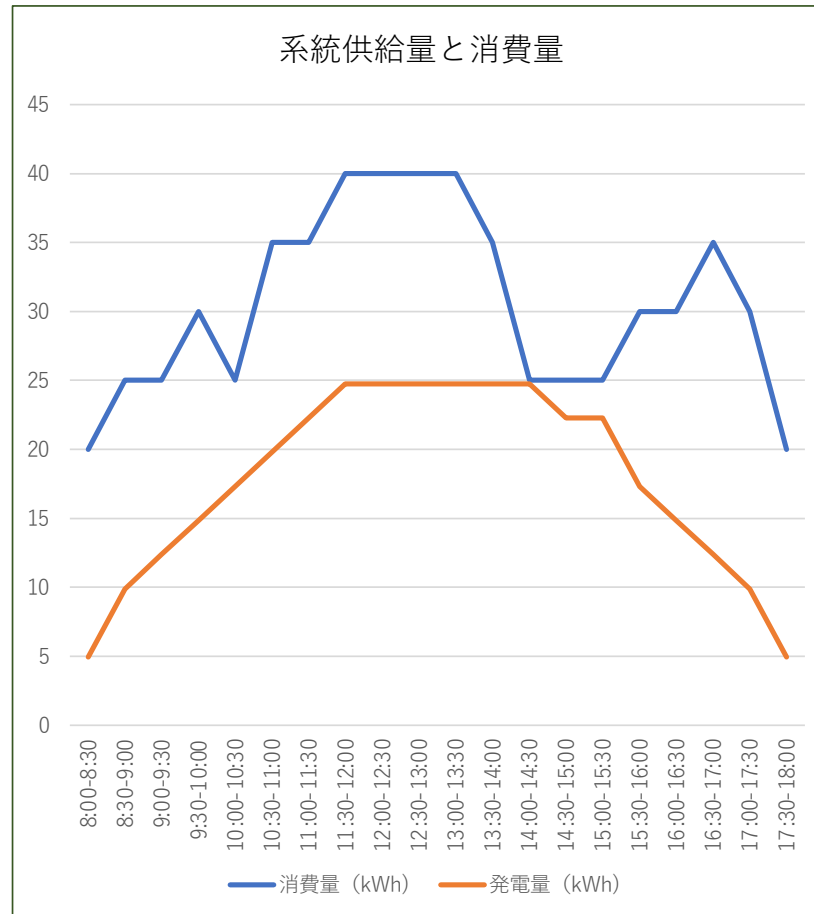


スマートメーターのBルートサービスを活用



ただし、現在、次世代スマートメーターの議論中で、通信方法や昨日がどうなるか不透明。Bルートサービスが残ることは確か。

系統からの供給量と消費量の比較

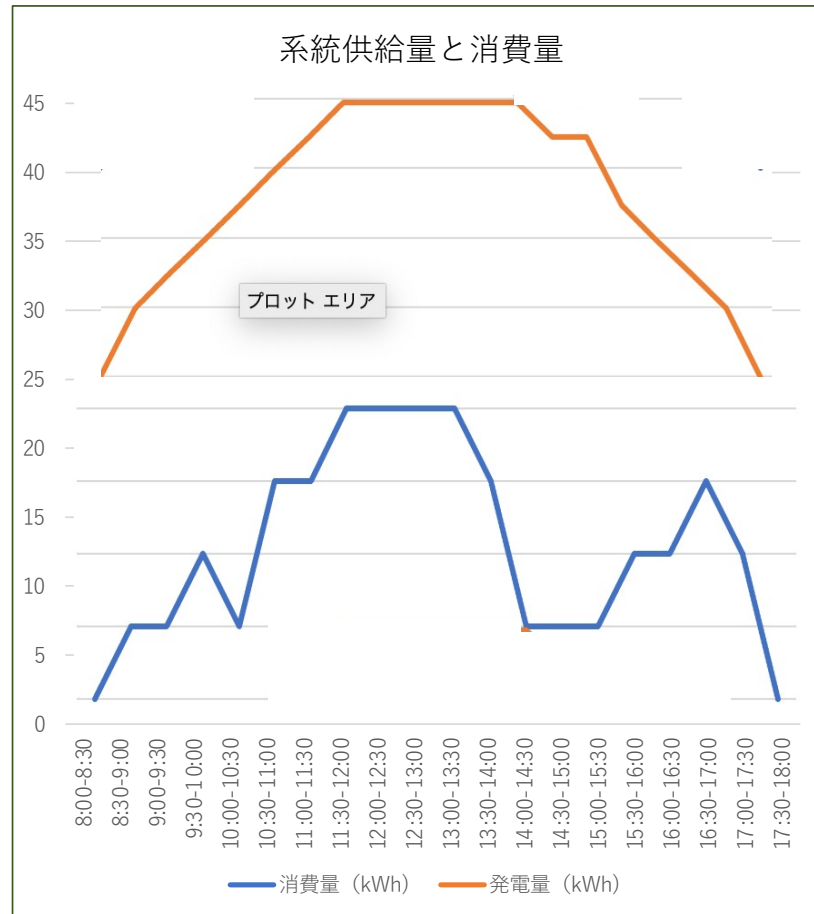


全量自家消費の場合、
図のように、発電時間中の施設側消費量（青）は、常に系統供給量（オレンジ）を上回っている。

14時から14時30分までは、両者の差が最も小さく、自家消費率99%となっている。
それでも、この発電所の電気は、全て、この特定消費者によって使われたことがわかる。

注意：再エネ100%ではない。

再エネ100%にも応用可能

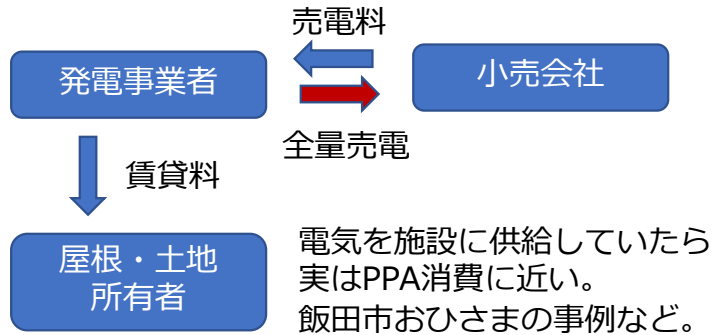


再エネ100%の場合、
図のように、発電時間中の施設側消費量（青）は、常に系統供給量（オレンジ）を下回っている。

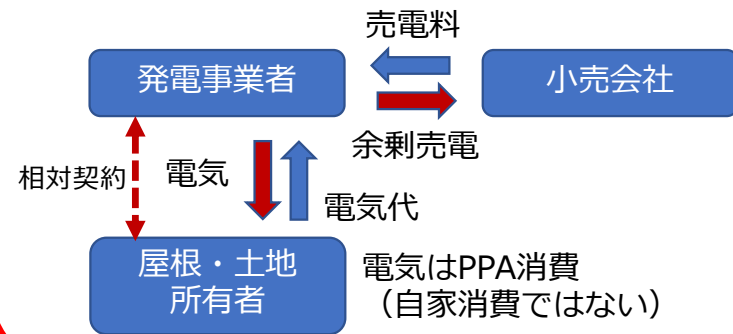
ただし、18時以降、8時以前にも消費がある場合、発電量はゼロになるため、再エネ100%にはならない。昼間時間帯の限定的再エネ100になる。

2、コーポレートPPA事業

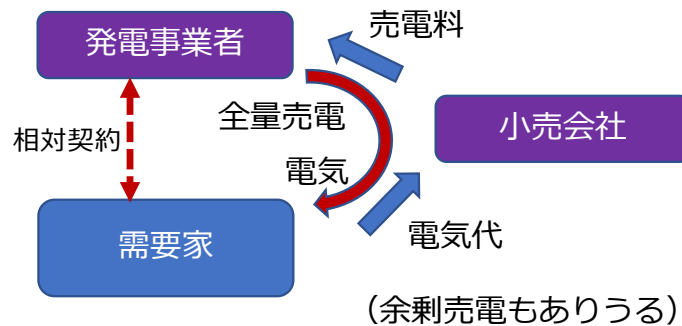
1、全量売電（屋根・土地借り）



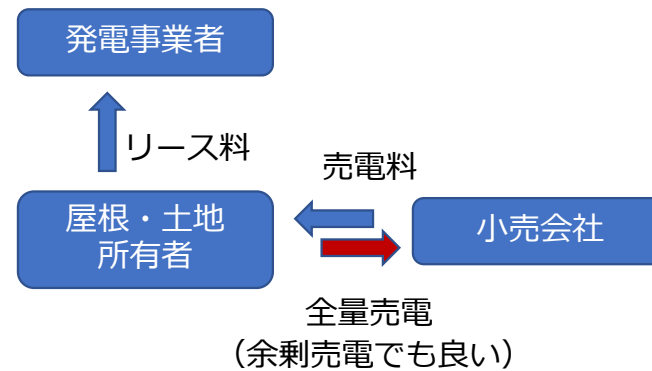
2、オンサイトPPA（屋根・土地借り）



3、オフサイトPPA

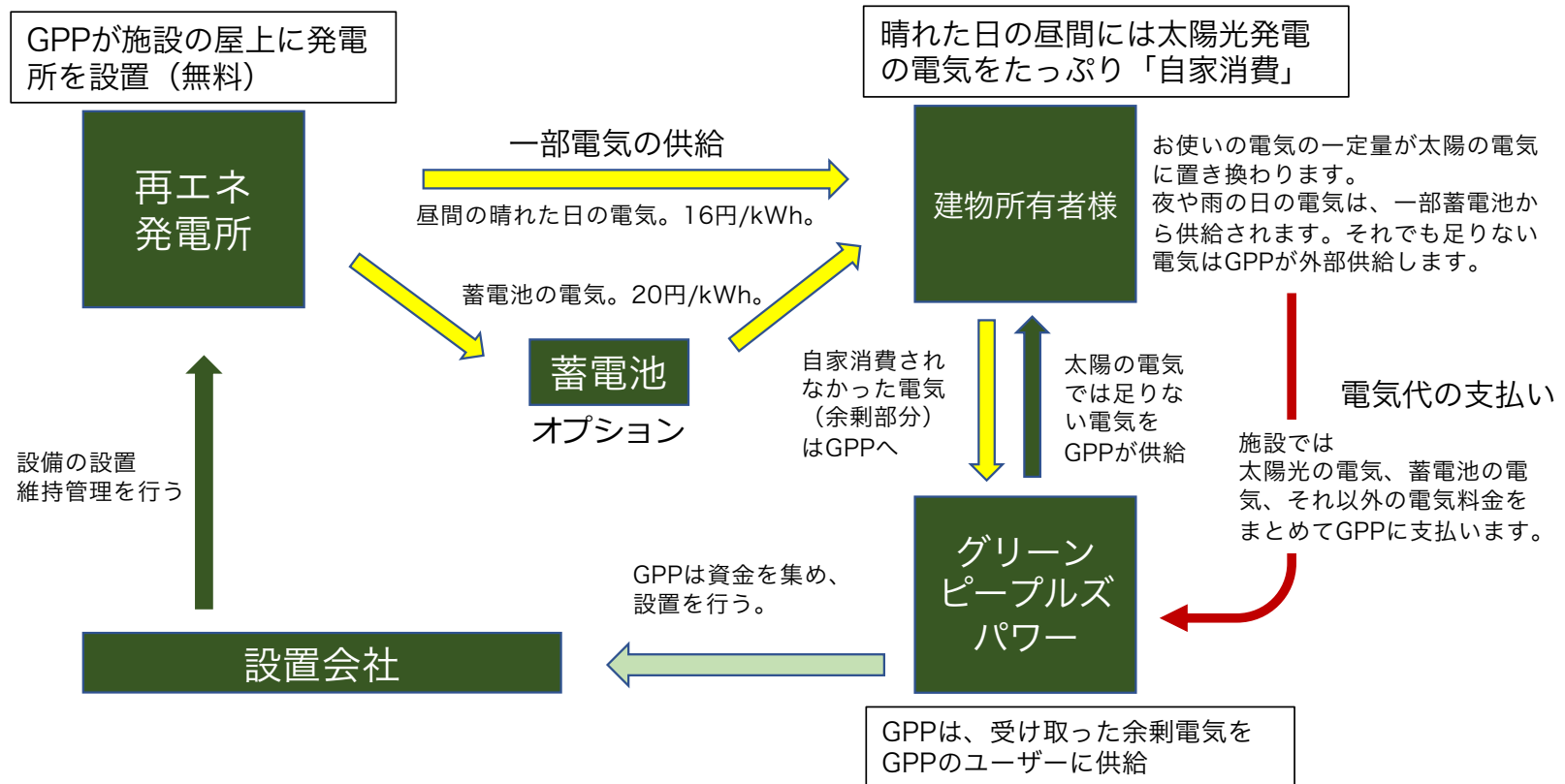


4、リース契約



オンサイトPPAの一例

GPP=グリーンピープルズパワー株式会社が社債募集にて建設中。



二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金・廃熱・未利用熱・営農地等の効率的活用による脱炭素化推進事業



かなごてファーム
金次郎の里発電所

発電 < 消費量

金次郎の里発電所で作られた電気が、
すべて2つの施設で使われています。

松田町
アシガラパートナーズ

電気

農家カフェ・シエスタ

